



府中市立府中第六中学校

令和6年6月7日 第3号

六中だより

～学校教育目標～
“学力と情操”
“健康と忍耐力”
“勤労と責任”

子どもの自立に心したいこと

校長 佐藤 光宏

高校受験や大学受験に、親が入試会場までついて行く姿を報道等で多く見かけます。子どもの巣立ちのときに、親がそっと後押ししてあげることが大切なことです。強く後押しをしてあげたほうがいい子どももいます。しかし、子どもが「いざ、わが人生勝負のとき」に、親があまりに近くにいられたら、自立への覚悟が鈍り、依存心が強くなります。社会経験が豊かな親だからこそ、子どもの進路・受験校の選択やその他の岐路に立ったときに助言することは大事です。しかし、最後の決断・決定や勝負の場にまで親がかかわるのは、子どもの自立を阻害してしまうのではないのでしょうか。

子どもの意思にかかわらず、親が子どもの人生のゴールを決めて、親の思うレールに遮二無二乗せようとする事例があります。歩む人生には障害や課題はつきものですが、親の決めた人生のレールを歩む途中に障害や課題が生じたときに、子どもは乗り越えようとする意欲よりも、「自分は、親の言うとおりにしたのに、こんなはずじゃなかった。親の責任だ。」と親への反発で関係が崩れてしまうこともあります。

親の責任は、子どもを一人の社会人として自立させることです。親は、子どもの伴走を生涯つづけることはできないし、やろうとしても限界があります。車を運転される方はおわかりになると思いますが、道路状況に適した車間距離を保って走ったほうが、結果的に目的地に早く安全に少ない疲労で到着します。子育ても同様に、親は子供の発達や成長に合わせて適切な距離を保ちながら、かかわっていくことが子どもの自立という目的地に早くスムーズに到着するのではないのでしょうか。そのためには日頃から、わが子の成長を「つかず離れず、目を離さず」親子の適度な車間距離を探ってかかわることです。私たち大人は、思春期に入った子どもたちの自立へのチャレンジを、適度な距離を保ちながら助言していきたいものです。



生徒総会

5月10日に生徒総会が行われました。学級内で出された質問に対して、各委員会の委員長から答弁があり、活動内容への理解が深まったことと思います。委員会の活動に対して全校生徒が支えています、よりよい学校づくりにつなげてほしいと思います。

1学年ふれあい自然教室

5月7日（火）～12日（水）で山梨県（河口湖・山中湖周辺）へ行ってきました。富士山のふもと、都会では味わえない自然豊かな場所で、風穴や氷穴を見学したり、フィールドワークやバードコール作りなどを行い、各クラス・学年内で交流を深めました。

教育実習

5月13日から5月31日までの3週間にわたり、3名の教育実習生が実習しました。担当教科は、国語、保健体育、英語で、2名は1学年のクラスに、1名は2学年のクラスに入りました。授業だけでなく、給食や学活などでも生徒と共に過ごし、充実の3週間でした。体育大会当日にもボランティアでお手伝いくださいました。

体育大会を終えて

全校練習が雨天中止となったことは非常に残念でした。しかし、翌日以降は天候に恵まれ、予行練習では本番を想定した有意義な準備の時間をとることができました。

生徒一人一人の体育大会に取り組む姿勢は大変素晴らしいものでした。バトンパスをミスしても、途中で転倒しても競技を終えるまで全力を尽くしていました。また、今年度のスローガンである「拍手勝彩」の通り、クラスや学年を越えて大きな拍手を送る姿がありました。そこには勝ち負けよりも大切なものがあったと思います。

体育大会当日の進行が円滑だったのは、各係に携わる一人一人に責任感があったことと、予行練習の失敗を分析し改善する力があったことの証拠だと言えます。

最後まで全力で競技に取り組む姿勢、勝敗を超えて互いに認め合う態度、自分の役割に対する責任感。みなさんが体育大会で得たものを今後に生かし、素晴らしい学校生活にしていけることを心から願っています。

実行委員長 宮下



部活動等の実績



陸上部

第75回東京都中学校地域別陸上競技大会

女子東部共通 100mH 第7位 16秒49 1年女子



剣道部

東京都中学校第9ブロック夏季剣道研修大会 第3位 2年女子

第9ブロック中学校夏季剣道シード権大会 女子の部 準優勝



スキー競技

第64回府中市民体育大会冬季大会 スキー競技 少年の部

大回転 中学生 第2位 3年男子 57秒54